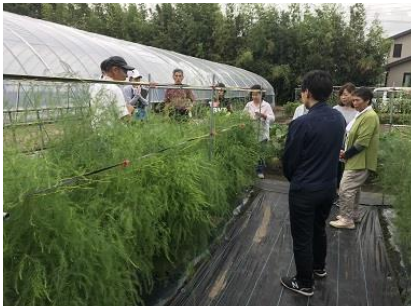


# 復興 そして未来へ 新たな農業の創造



<表紙の説明>

上段 左より

- ・プロジェクト課題 (株)デ・リーフデ北上のハウス内部
- ・デビューを待つ稲と晴れ晴れしく舞うブルーインパルス
- ・スマート農業実演会 自動運転コンバインの実演

中段 左より

- ・若手職員が新ブランド米「だて正夢」を全力アピール！
- ・本格デビューした「にこにこベリー」とC a f e 蓮（石巻駅前）のパフェ
- ・麦畑 麦の生育調査をしています。

下段 左より

- ・農業法人向けセミナー 展示ブースではほ場管理システムの説明を聞く参加者
- ・アスパラガス採りっきり栽培現地検討会 8月の生育は順調です
- ・プロジェクト課題 (株)宮城リスタ大川での社員勉強会（水稻適期刈り取り）



# 「復興 そして未来へ 新たな農業の創造」

## 石巻農業改良普及センター 令和2年度普及指導計画

**<石巻圏域の農業の概要>**  
 ○耕地面積は13,285haで水田率は88%  
 ○圏域の農家数は、4,938戸(29.8%減少)、このうち販売農家数は、3,657戸(30.9%減少)、農業就業人口の平均年齢は65歳(1.5歳高齢化)。2015年農林業センサス。  
 ○農業産出額は昭和60年の382億円が最大で平成29年には194億円に減少  
 ○水稲の作付面積は約7,350haでひとめぼれ、ササニシキ中心の良質米産地  
 ○畜産は、鶏、豚、肉用牛(戸数208戸、頭数5,259頭)等が中心  
 ○県内第2位の園芸産地できゅうり、トマト、いちご、ねぎ、こねぎ等が中心。ガーベラは東北一の産地

**<大震災の被害と復興状況>**  
 ○津波被害の復旧対象面積約3,480haのうち平成29年3月末現在92%復旧  
 ○石巻圏域で、震災後から平成29年12月末現在までに新たに58の農業法人設立  
 ○農業産出額は平成23年149億円、平成24年175億円、平成25年166億円、平成26年156億円、平成27年165億円、平成28年183億円、平成29年194億円で推移。  
 ○水稲の作付面積(平23)は7,355haで、令和元年は7,550ha(103%)  
 ○被災した園芸施設27.9haの中、交付金等の活用で平成29年3月まで100%復旧  
 ○農産物の放射性物質の定期検査、精密検査を平成29年3月末日まで約2,150点実施し、基準値超過なし

**みやぎの農業・農村復興計画(平成23年～令和2年)**  
 ○発展期(平30～令2)の取組  
 1 県内の農業生産力の早期回復  
 ①生産基盤の早期復旧  
 ②営農再開に向けた支援  
 ③被災農畜産物の処理  
 ④新たな担い手の参入促進  
 ⑤内陸地域の農業生産の拡大  
 ⑥福島第一原子力発電所事故による影響への対応  
 2 新たな時代の農業・農村モデルの構築  
 ①災害に強い農業・農村づくり  
 ②「市町農業・農村に関する復興計画」の策定支援  
 ③市町復興計画に基づいた生産基盤の整備及び生産体制の支援  
 ④収益性の高い農業経営の実現  
 ⑤活力ある農村の復興

**みやぎ食と農の県民条例基本計画(平成28年～令和2年)**  
 『農業を若者があこがれる魅力ある産業に』  
 施策1 農産物の安全確保の推進  
 施策2 消費者と農業者の相互理解の推進  
 施策3 競争力のあるアグリビジネス経営体育成の加速化  
 施策4 活力ある担い手の確保・育成  
 施策5 優良な生産基盤の確保と有効活用  
 施策6 水田フル活用による多様な作物生産の振興  
 施策7 園芸の競争力の強化  
 施策8 畜産の生産基盤強化と畜産物の安定供給  
 施策9 「食材王国みやぎ」による販売戦略の展開と食産業の振興  
 施策10 生産力と品質を高める農業技術の高度化  
 施策11 農業・農村の多面的機能の維持・発揮と県民理解の向上  
 施策12 農業・農村が有する地域資源の保全・管理と活用  
 施策13 環境に優しい農業の推進  
 施策14 中山間・沿岸地域等における農業振興と農村活性化  
 施策15 快適な暮らしを守る生活環境の整備

**石巻地域普及活動基本方針(平28～令2)**  
**普及事業の取り組み課題** (※ 下線部 H29一部改正)

**1 魅力ある農業・農村の再興**

(1) **次代の農業を担う経営体の育成・支援**  
 ① 経営規模の拡大に合わせて、新技術・新品種やコスト低減技術の導入により経営の高度化を目指す経営体の支援  
 ② 農地復旧や農地集積に合わせて新たな地域営農システムの導入や、担い手となる経営体の経営確立支援  
 ③ 人・農地プラン等を基本に、地域の合意形成の下、効率的な生産体制づくりに対する支援

(2) **津波被災地域の営農確立支援**  
 ① 生産組織等が行う生産関連施設等の復旧・整備計画策定に対する支援  
 ② 各市町の復興計画に基づいた営農ビジョンや土地利用計画等の作成及び実践支援  
 ③ 復旧農地における農作物の安定生産に向けた栽培支援

**2 先進的農業に取り組む経営体の支援**

(1) **先進的技術に取り組む経営体の育成・支援**  
 ① 革新的技術及び新規作物等の導入、栽培・飼養管理の最適化、環境制御技術、新品種・新技術(ICTやロボット技術を含む)や省力・コスト低減技術等の導入支援  
 ② 地球温暖化に対応するための生産安定技術導入、適切な病害虫防除体系の確立、気候変動に対応した新たな営農システムの構築支援  
 ③ 消費者ニーズに応える土地利用型作物、園芸、畜産の生産技術向上支援  
 ④ 経営分析・診断に基づく生産・経営の課題解決支援  
 ⑤ 農業経営の法人化、経営の多角化・複合化等、経営の発展段階に応じた支援  
 ⑥ 従事者の安全衛生の確保と、福利・厚生に配慮した雇用・労務管理能力向上支援

(2) **競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援**  
 ① マーケティング戦略等に基づく経営計画作成と地域資源を活用した商品開発支援  
 ② 民間専門家等との連携による付加価値の高い生産・加工技術の導入・定着支援  
 ③ 商品の品質・衛生管理の徹底と持続性の高い生産・加工・販売の展開支援  
 ④ 農商工連携や異業種交流活動などによる、新たな価値の創出等の支援  
 ⑤ 農畜産物の輸出や加工・業務向け販売など多様な販路の確保及び農業協同組合等関係団体との連携による販売体制の整備支援  
 ⑥ 知的財産を活用したブランド化など「強み」のある農産物・加工品づくりの支援

(3) **安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体の支援**  
 ① 国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)の導入及びその実践に取り組む経営体への育成と定着支援  
 ② 農産物や加工品等の表示等に関する知識の普及指導  
 ③ トレーサビリティに取り組む経営体への定着支援  
 ④ 交流等を通じた消費者と農業者の相互理解の推進  
 ⑤ 農業登録情報等の迅速で正確な提供による農業等の適正使用の推進  
 ⑥ 栽培及び生産管理指導等を通じた主要農作物優良種子生産支援  
 ⑦ 農作物、土壌等における放射性物質のモニタリングと情報提供  
 ⑧ 放射性物質の吸収抑制・回避技術の実践支援

(4) **環境と調和した農業生産に取り組む経営体の支援**  
 ① 総合的病害虫・雑草管理(IPM)技術等、環境に配慮した栽培管理体系の導入と定着支援  
 ② 農業副産物や家畜排泄物等を適切に堆肥化し土づくりに生かす耕畜連携農業の導入と定着支援  
 ③ 「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」に取り組む農業者やエコファーマーへの技術支援  
 ④ 有機農業に取り組む農業者への技術支援

**3 地域農業の振興に向けた総合的な支援**

(1) **地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援**  
 ① 認定農業者や集落営農組織、認定農業者を志向する農業者や組織経営体等の経営改善及び安定に向けた支援  
 ② 営農・生活設計の作成や家族経営協定締結の推進による農家経営改善の実践支援  
 ③ 認定新規就農者、就農希望者、新規参入者の確保及び定着に関する支援  
 ④ 次世代経営者等の確保に向けた雇用就農者の育成に関する支援  
 ⑤ 経営参画に意欲的な女性農業者の育成及び生活研究グループ等の女性農業者同士のネットワーク強化、並びに地域資源を活用した取組への支援  
 ⑥ 農村青少年クラブ等の組織活動や農業部門別研究活動の促進  
 ⑦ 農業士や研修教育施設等と連携した経営者の育成・支援  
 ⑧ 農業研修教育の実施による次代を担う経営者の養成・支援

(2) **地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援**  
 ① 経営所得安定対策に対応した取組支援  
 ② 地域水田農業ビジョン及び水田フル活用ビジョンの実践支援  
 ③ 人・農地プランの策定及び見直しに必要な地域の合意形成並びに効率的な生産体制づくりの支援  
 ④ 農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化支援  
 ⑤ 地域振興作物等の生産体制の構築支援

(3) **農村地域の振興に向けた取組に対する支援**  
 ① 農村地域振興の核となる組織及び経営体の育成支援  
 ② 中山間地域等の特色を活かした新品目・新品種の導入や特産品づくり、地域農産物の高付加価値化支援  
 ③ 都市と農村の交流等多彩な関係者が連携した各種交流活動支援  
 ④ 遊休農地(耕作放棄地)の有効利用に向けた取組支援  
 ⑤ 水田等の多面的機能を維持する活動の支援  
 ⑥ 鳥獣被害対策への地域的な取組支援

令和2年度  
重点目標

令和2年度プロジェクト課題  
※対象や期間を明確にして効率的、効果的に支援

令和2年度 普及センター活動

1 魅力ある石巻地域の農業・農村の再興

NO.1 被災農地における土づくりの推進による生産性の向上「中間管理事業」「スマート農業」(新規)  
 期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 (株)宮城リスタ大川、(農)みのり、(農)ゆいっこ  
 内容 土づくりモデル実証ほ設置による効果検証支援、地域内有機物活用計画・経費試算及び供給量調査、水稲乾田直播栽培実証ほ設置による効果検証支援等

2 次代を担うモデル経営体の育成・支援

NO.2 組織力強化による農業法人の経営ステップアップ「GAP」(新規)  
 期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 (株)めぐいーと  
 内容 社内体制・内規整備など支援、水田部門の強化支援、ミニトマト部門の作業標準化とGAP方式の実践支援

3 農村地域の振興に向けた取組支援

NO.3 県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化(新規)  
 期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 (株)いちごランド石巻、(株)トライベリーファーム、(株)イグナルファーム、(株)アグリ・パレット、(株)サンエイト  
 内容 にこにこベリーの品種特性に合わせた栽培管理の習得等

4 地域農業を支える活力ある担い手の確保・育成

NO.4 地域活性化に向けた高収益作物(アスパラガス)の導入・定着(新規)  
 期間 令和2年度～令和4年度  
 対象 アスパラガス研究会  
 内容 安定生産技術に関する技術力向上、販売先確保、単価向上に関する販売力向上、関係者間ネットワーク力向上支援等

**★重点的な普及センター活動**  
 ※ 政策の動きや関係機関からの要望等により、一層の対応が必要な課題

- 露地野菜の技術向上と作付け拡大支援(圏域の園芸振興戦略プランの推進に向けた取組支援等)
- 担い手育成支援機関等との連携による新規就農者の確保・育成(就農相談、就農定着、雇用就農者支援等)
- 経営の発展段階に応じた総合的な支援による活力ある経営体の育成(集落営農組織等の法人化支援等)
- 農地集積に伴う地域農業の担い手組織育成支援(土地基盤整備の進展に伴う農地集積、担い手組織の育成)
- 地域ぐるみ(総合対策)の鳥獣被害防止対策による農業生産基盤の維持

**◆普及センター活動**

- 農業者や地域のニーズに応じた、技術支援、経営改善、農村活性化、相談活動、プロジェクト課題への助走、終了課題対象のフォローアップ等

- 地域農業を支える経営体の育成
- 農業後継者の確保と資質の向上
- 青年農業者活動支援
- 女性農業者の資質向上と活動支援
- 農村資源を活かした地域活性化支援・観光地奥松島における果樹振興による農業と観光の再興
- 農作物の鳥獣被害防止対策支援・関係機関との連携による鳥獣被害防止対策の推進
- 売れる米づくりの推進・新品種「だて正夢」の普及推進、輸出米への取組支援
- 高品質麦・大豆の安定生産
- 優良麦・大豆種子生産の推進
- 経営管理能力を持つ経営体の育成
- 畜産の生産技術の向上
- 環境に配慮した持続的な農業生産の推進
- 安全・安心な農作物の生産支援
- 野菜の安定生産支援
- 花きの品質向上及び安定生産支援

**調査研究**  
 ・各普及指導員が地域の特性に応じて農業に関する高度な技術や知識を組み立てて実証し、成果を普及活動に活用





# 令和2年度 普及指導計画 プロジェクト課題マップ

**NO3 県育成品種「にこにこベリー」の  
収量安定化**

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 ①(株)いちごランド石巻  
 ②(株)トライベリーファーム  
 ③(株)イグナルファーム  
 ((株)アグリ・パレット, (株)サンエイト)

内容 ・にこにこベリーの品種特性に合わせた  
栽培管理の習得

**NO1 被災農地における土づくりの  
推進による生産性の向上  
「中間管理事業」「スマート農業」**

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 ①(株)宮城リスタ大川  
 ②(農)みのり  
 ③(農)ゆいっこ

内容 ・土づくりモデル実証ほ設置による効果  
検証支援  
 ・地域内有機物の活用計画・経費試算  
及び供給量調査  
 ・水稲乾田直播栽培実証ほ設置による  
効果検証支援

**NO2 組織力強化による農業法人の経営  
ステップアップ「GAP」**

期間 令和2年度～令和3年度  
 対象 ①(株)めぐいと

内容 ・社内体制・内規整備など支援  
 ・ミニトマト部門における作業の標準化と  
GAP方式の実践支援  
 ・水田部門の強化支援

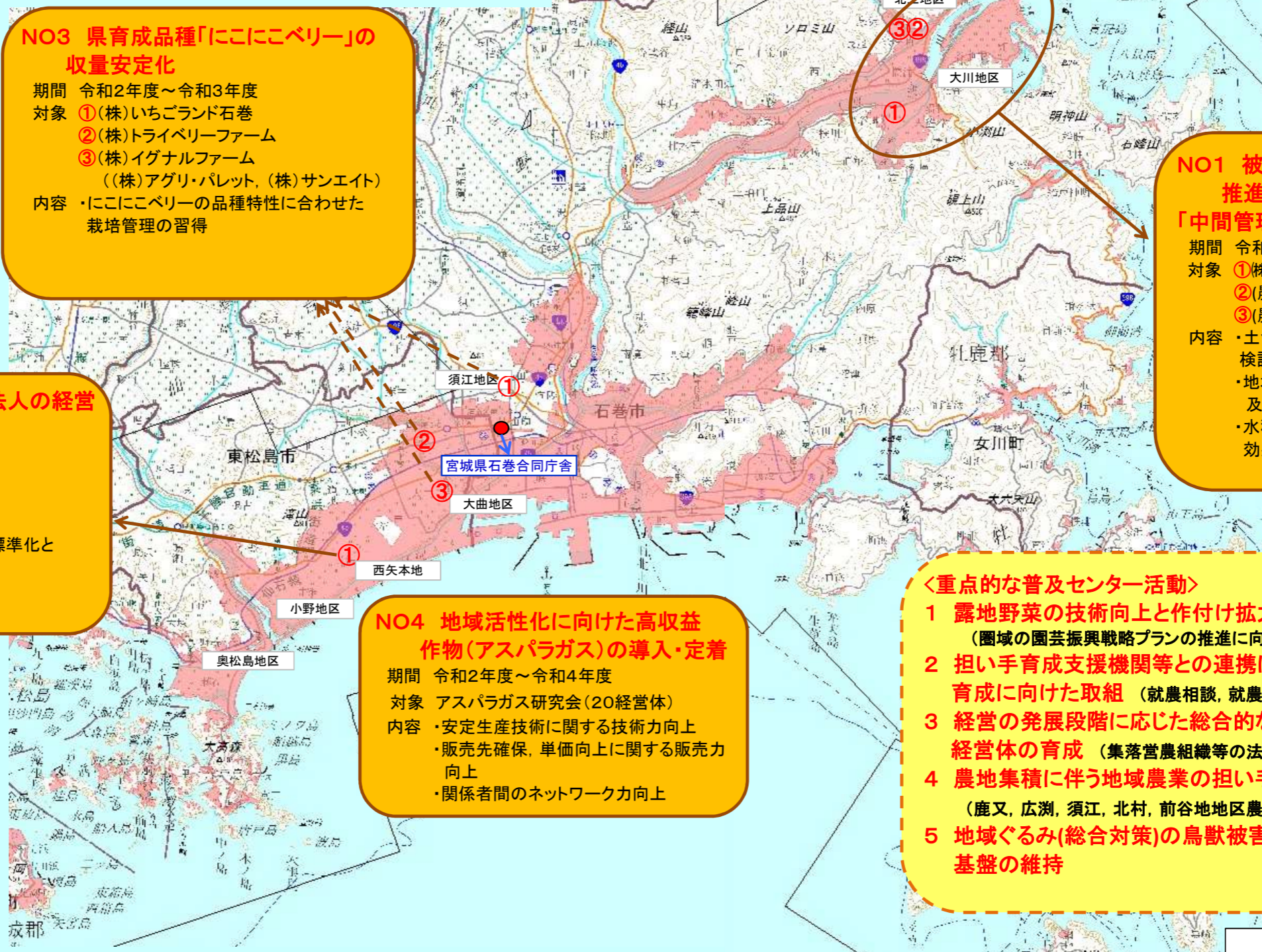
**NO4 地域活性化に向けた高収益  
作物(アスパラガス)の導入・定着**

期間 令和2年度～令和4年度  
 対象 アスパラガス研究会(20経営体)

内容 ・安定生産技術に関する技術力向上  
 ・販売先確保, 単価向上に関する販売力  
向上  
 ・関係者間のネットワーク力向上

**<重点的な普及センター活動>**

- 1 露地野菜の技術向上と作付け拡大支援  
(圏域の園芸振興戦略プランの推進に向けた取組支援等)
- 2 担い手育成支援機関等との連携による新規就農者の確保・  
育成に向けた取組 (就農相談, 就農定着, 雇用就農者支援等)
- 3 経営の発展段階に応じた総合的な支援による活力のある  
経営体の育成 (集落営農組織等の法人化支援等)
- 4 農地集積に伴う地域農業の担い手組織育成支援  
(鹿又, 広瀬, 須江, 北村, 前谷地地区農用地利用改善組合)
- 5 地域ぐるみ(総合対策)の鳥獣被害防止対策による農業生産  
基盤の維持





# 目 次

I	令和2年度普及指導方針	1
II	普及指導員活動計画	3
	(1) プロジェクト課題一覧表	3
	(2) プロジェクト課題計画	4
	(3) 調査研究一覧	12
III	普及センターの活動等	13
	(1) 普及センター活動一覧表	13
	イ. 重点活動	13
	ロ. 一般活動	15
	(2) 展示ほ・実証ほ等設置計画	18
	(3) 各種情報調査計画	20
IV	その他	21
	(1) 管内で実施される主な事業と普及センターの役割分担	21
	(2) 職務分担	25
V	参考資料	28



# I 令和2年度普及指導方針

石巻地域は、県東部の北上川下流域に位置し、水稻・大豆・麦類の土地利用型作物を主体に、畜産、園芸等多彩な農業が展開されている。水稻はひとめぼれ、ササニシキの主産地であり、畜産は基幹種雄牛「勝洋」、「阜月彰」等を活用した優良肉用牛の生産を振興している。野菜は、冬春きゅうり、夏秋トマト、秋冬ねぎが国の野菜指定産地であり、いちご、こねぎ、ほうれんそうなど多様な品目が生産され、花きでは、東北一のガーベラ産地があるなど、県内の主要な園芸産地となっている。

こうした中、平成23年3月11日に発生した東日本大震災(マグニチュード9.0、震度7)では、津波により、沿岸部を中心に貴い人命を失うとともに住居や農地、農業用機械・施設等に甚大な被害を受け、農業産出額(H23年)は149億円(H18年比75%)まで減少した。

震災後、各関係機関・団体が連携し、国等の復旧・復興関連支援策の活用により、被災した農地の97%(H31年3月)、園芸施設の100%(H29.3月)が復旧し、農業産出額(H29年)は194億円(H23比131%)まで回復している。また、震災後、新たに63農業法人が設立され、これらの農業法人等が中心的な担い手となり震災からの復興が図られている。

土地利用型法人の中には100haを超える大規模経営を展開している法人があり、園芸では震災後に設立された大規模園芸法人をはじめトマト、いちご等で環境制御等の先進的技術が導入されている。これらの法人においては技術革新ばかりでなく経営管理支援も求められている。一方では、農地の完全復旧が令和2年度までかかる地区もあり、引き続き栽培技術支援や経営体の育成、経営の支援が求められている。

さらに、農業・農村を取り巻く課題である農業従事者の高齢化や人口減少に対応した農村集落機能の維持、耕作放棄地、鳥獣被害対策への支援が求められている。加えて、水稻をはじめ新品種の普及定着化、国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)への取組等に体する支援要望が高まっている。

このような状況を踏まえ、「宮城県震災復興計画」における発展期(H30～32年度)の最終年となる本年度は、震災からの魅力ある農業・農村の再興をはじめ、次代の農業を担う新たな担い手の確保・育成、ICT等を取り入れた先進技術(スマート農業)の導入等による省力・低コスト化の支援、経営の安定化と高度化に向けた取組に加え、地域資源を活かした付加価値の高い農業生産等を支援しながら「新たな農業の創造」を目指す。

活動に当たっては「石巻地域普及活動基本方針」(H28～32)に基づき、「みやぎの農業・農村復興計画(H23年10月)」(発展期)及び、「宮城県地方創生総合戦略(H27年10月)」、「第2期みやぎ食と農の県民条例基本計画(H28年3月改定)」等との整合性を図り、次の4項目を重点活動項目に掲げ、市町やJA等農業関係機関と連携しながら、計画的かつ効率的な普及活動を展開する。

## 重点活動項目

- 1 魅力ある石巻地域の農業・農村の再興
- 2 次代を担うモデル経営体の育成・支援
- 3 農村地域の振興に向けた取組支援
- 4 地域農業を支える活力ある担い手の確保・育成

## 1 魅力ある石巻地域の農業・農村の再興

震災後の復旧・復興の中心的担い手となっている農業法人等に対して、栽培技術と経営管理の継続支援を行う。特に、震災後新たに設立した法人に対しては、早期に経営が安定化するよう支援するとともに、今後復旧する農地での農作物の安定生産に向けた技術支援を行う。

- (1) 農地復旧や農地集積に合わせた新たな地域営農システムの導入や担い手となる経営体の経営確立支援
- (2) 復旧農地における農作物の安定生産及び省力・低コスト生産に向けた栽培支援
- (3) 各市町の復興計画に基づいた営農ビジョンや土地利用計画等の取組支援
- (4) 生産組織等が行う生産関連施設等の復旧・整備計画策定に対する支援

## 2 次代を担うモデル経営体の育成・支援

土地利用型経営体の経営規模拡大や園芸経営体の環境制御技術等の先進的技術導入が加速化する中、ICT等先進技術の早期定着化や経営の効率化、地域資源の高付加価値化やグローバル化への対応などを技術・経営面から総合的に支援し、次代を先導するモデル経営体の育成を図る。

- (1) 土地利用型経営体におけるICT等を取り入れた新技術導入による生産効率化支援
- (2) 環境制御等革新的技術や総合的病害管理技術(IPM)技術等の導入・実践の支援
- (3) 経営分析・診断に基づく生産・経営の課題解決支援
- (4) 国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)に取り組む経営体への支援
- (5) マーケティング戦略等に基づく経営計画作成と6次産業化などに取り組む経営体の支援
- (6) 優良繁殖牛基盤の拡充と飼料自給率や飼養管理技術向上による経営安定化の支援

## 3 農村地域の振興に向けた取組支援

震災後の人口減少により農村集落機能の低下が懸念されており、農村地域の振興を図るため、地域の核となる組織・経営体の育成し、地域資源を活用したコミュニティビジネスの推進等の取組を支援する。

- (1) 農村地域振興の核となる組織及び経営体の育成・支援
- (2) 経営所得安定対策、水田フル活用ビジョン、人・農地プランなど地域計画の取組支援
- (3) 新品目・新品種の導入や特産品づくり、地域農産物の高付加価値化支援
- (4) 農村青少年クラブや生活研究グループ等の活動支援
- (5) 鳥獣被害対策の地域的な取組支援

## 4 地域農業を支える活力ある担い手の確保・育成

農業の持続的な発展に向けて、関係機関と連携しながら就農前から就農後まで切れ目のない支援を行い、新規就農者の確保・育成を図る。また、増加傾向にある雇用農業者の育成を支援する。地域農業の中心的担い手となっている経営体に対しては、経営規模の拡大、新たな品目導入、雇用型経営の安定化等による経営の体質強化を支援する。

- (1) 農業者研修教育施設や関係機関、農業法人等と連携した新規就農者の確保・育成支援
- (2) 雇用就農者のキャリアアップに向けた支援
- (3) 認定農業者や集落営農組織、認定農業者を志向する農業者や組織経営体等の経営改善及び安定に向けた支援
- (4) 「農地中間管理事業」等を活用した担い手に対する農地利用集積の推進



## II 令和2年度普及指導員活動計画

### (1)プロジェクト課題一覧表

No	プロジェクト課題名	計画期間	対象（対象農家・地域名等）	進行管理担当班 担当者名
1	被災農地における土づくりの推進による生産性の向上 「中間管理事業」、「スマート農業」関連課題	令和2年度 ～ 3年度	(株)宮城リスタ大川 (農)みのり (農)ゆいっこ	先進技術第一班 ◎阿部定浩 三上綾子 佐藤元道 木村友祐 児玉 彩 高橋忠信
2	組織力強化による農業法人の経営ステップアップ 「GAP」関連課題	令和2年度 ～ 3年度	(株)めぐいと	地域農業班 ◎増岡直史 工藤詩織 鈴木香深 児玉 彩 佐々木宏行
3	県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化	令和2年度 ～ 3年度	(株)いちごランド石巻 (株)トライベリーファーム (株)イグナルファーム ((株)アグリ・パレット, (株)サンエイト)	先進技術第二班 ◎鈴木香深 宍戸 修 三上綾子 小林雅文 関口 道
4	地域活性化に向けた高収益作物（アスパラガス）の導入・定着	令和2年度 ～ 4年度	アスパラガス研究会 (20経営体)	地域農業班 ◎小山かがみ 田中正義 佐藤元道 高橋忠信 濁沼小百合

(2)プロジェクト課題計画

課題NO.	1		
課題名	被災農地における土づくりの推進による生産性の向上（「中間管理事業」「スマート農業」関連課題）		
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	(株)宮城リスタ大川, (農)みのり, (農)ゆいっこ		
課題の背景	<p>・石巻市大川及び北上地区は、東日本大震災の津波により生活基盤、農業機械・施設、農地が甚大な被害を受けた。ほ場整備事業により徐々に農地が復旧され、(株)宮城リスタ大川、(農)みのり、(農)ゆいっこが復旧農地の担い手として営農を行っている。</p> <p>・ほ場整備事業により令和3年度までに全面積が営農再開される予定となる。これまでの復旧農地での普及センターの水稻生育調査等の結果から、地力が低いため低収量となっている課題が明らかとなった。有機物投入による土づくりの取組を提案したところ、(株)宮城リスタ大川では、土づくりや地力向上への関心が高まり、取組方法の検討を始めたところである。(農)みのり、(農)ゆいっこでも堆肥等施用による土づくりが取り組まれており、その効果の検証が必要と感じている。</p> <p>・一方、畜産由来の有機物処理が地域の課題となっており、耕種農家への堆肥等供給や地域内循環に向けた取り組みが始まりつつあるが、まだ限定的な一部の取り組みにとどまっている。</p> <p>・3法人では、水田の地力・水稻収量向上に合わせて計画的な労働力の配分を行うことや、毎年徐々に営農再開面積が拡大する中、水稻育苗ハウス面積等の不足もともない省力化技術として水稻乾田直播栽培への関心が高まっている。</p> <p>・大規模稲作経営法人の堆肥等散布については、経営面積が大きいこと、複数年かけて全面積に堆肥を散布することとなる。また、単年度に入手できる堆肥の量に限界があることとから、数年かけて計画的に堆肥を散布することとなる。そのため、ほ場管理システムを活用し、堆肥の散布計画作成やそれに基づく作業の進捗管理、散布したほ場条件の社内での共有化を図る必要がある。併せて、省力化技術として水稻乾田直播栽培の導入にあたり、作期分散や気象変動へのリスク分散など、効率的な労働配分を組み立てる必要がある。</p>		
意図する対象の変化	<p>・地域内有機物循環システムが構築され、地力が向上し、水稻の収量向上・安定が図られ、有機物施用による土づくりが継続的に行われる。</p> <p>・農地復旧の進展に伴い、更に規模が拡大する大規模稲作経営法人において水稻乾田直播栽培への取り組みが拡大する。</p>		
県実施方針上の関連項目	<p>1－(1)先進的技術に取り組む経営体の育成・支援</p> <p>2－(1)地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援</p> <p>2－(4)東日本大震災からの復興に関する支援</p>		
地域基本方針上の関連項目	<p>1－(1)次代の農業を担う経営体の育成・支援</p> <p>1－(2)津波被災地域の営農確立支援</p> <p>2－(1)先進的技術に取り組む経営体の育成・支援</p> <p>3－(1)地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援</p>		
担当チーム員	◎阿部定浩, 三上綾子, 佐藤元道, 木村友祐, 児玉 彩, 高橋忠信	担当班及び進行管理責任担当者	先進技術第一班 三上綾子
成果指標	令和2年度		
	<p>定性的目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内における供給可能な有機物量が把握され、大規模稲作経営法人による利用計画が作成される。</li> <li>・計画的な労働力の配分を行うための省力化技術として水稻乾田直播栽培技術が定着することで、労働生産性の向上、作期拡大によるリスク分散が図られる。</li> </ul> <p>定量的数値目標</p> <p>有機物投入ほ場における水稻玄米収量 R01年430kg/10a → R02年445kg/10a → R03年460kg/10a</p>		
活動指標	<p>定量的数値指標(合計総現地活動日数 84日)</p> <p>活動事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土づくりモデル実証ほ設置による効果検証支援 (26日) (土壌分析, 生育調査, 収量調査, 対照ほ場との比較)</li> <li>・地域内有機物活用計画・経費試算及び供給量調査(時期別) (28日)</li> <li>・水稻乾田直播栽培実証ほ設置による効果検証支援(生育調査, 収量調査, 労働力の配分) (30日)</li> </ul>		
関係機関の主な役割分担項目			
JAいのまき及び石巻市(経営体育成支援), (公社)みやぎ農業振興公社及び北上川沿岸土地改良区(農地集積支援), 東部地方振興事務所農業農村整備部(ほ場整備事業, 農地復旧)・畜産振興部(有機物資源地域内流通支援), 古川農業試験場(栽培技術支援), 畜産試験場及び農業・園芸総合研究所(堆肥化技術支援)			
関連事業名と役割			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地域農業復興総合支援事業(事業計画の実現支援)</li> <li>・東日本大震災農業生産対策交付金事業(事業計画の実現支援)</li> <li>・農山漁村地域復興基盤総合整備事業(ほ場整備, 担い手への農地集積)</li> <li>・農地中間管理事業(農地集積の普及啓発等)</li> <li>・スマート農業実証モデル推進事業(技術導入・定着支援)</li> </ul>			

課題NO.	2		
課題名	組織力強化による農業法人の経営ステップアップ（「GAP」関連課題）		
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	株式会社めぐいと		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる株式会社めぐいとでは、継続的な人材不足となっているほか、トマトの栽培管理において作業の遅れが毎年生じるなどして収量を損ねる原因となっており、令和元年度には「農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業」を活用して、組織としての課題の洗い出しと対策を始めた。</li> <li>この中でトマトにおけるGAPについて学び、GAPの効果（作業の標準化と定着、会社の対外的な信用度の向上）を感じ、社を挙げての取組の必要性を感じ始めたところである。</li> <li>また同社では、令和2年4月、水田部門に新規採用社員が入社するほか、同年度中には育児休暇中の社員が復帰する見込みである。さらに令和3年度にも、水田・園芸各部門1名ずつの社員採用を計画している。</li> <li>とりわけ水田部門はこれまで専ら役員が作業してきたところに若い社員を初めて投入することになり、栽培管理技術の継承や水田部門内の情報共有体制構築が新たな課題として顕在化することが考えられる。</li> <li>このように同社は新たな担い手が増加する局面を迎えており、社員を定着させ、技術や情報の共有と伝達を図るためにも、その仕組みを構築することが課題となっている。</li> </ul>		
意図する対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事や給与等に関する社内制度が整備され、正しく運用される。</li> <li>作業などが標準化され、社内で認識共有・情報共有されている。</li> <li>社内制度と情報共有体制を元に、人材の採用と定着が図られる。</li> </ul>		
県実施方針上の関連項目	2－（1）地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援		
	2－（4）東日本大震災からの復興に関する支援		
地域基本方針上の関連項目	1－（1）次代の農業を担う経営体の育成・支援		
	1－（2）津波被災地域の営農確立支援		
	3－（1）地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援		
担当チーム員	◎増岡直史，工藤詩織，鈴木香深，児玉 彩，佐々木宏行	担当班及び進行管理責任担当者	地域農業班 田中 正義
成果指標	令和2年度		
	定性的目標		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員の定着促進や情報の共有に資する社内制度が整備される。</li> <li>作業の標準化やGAP方式の導入などを通じて、社内での情報・認識共有が図られる。</li> </ul>		
活動指標	定量的数値目標		
	ミニトマトにおける標準作業 R1：0 → R2：1 → R3：1		
	定量的数値指標(合計総現地活動日数 80日)		
活動指標	活動事項		
	社内体制・内規整備など支援		34日
	ミニトマト部門における作業の標準化とGAPの実践支援		34日
	水田部門の強化支援		12日
関係機関の主な役割分担項目			
東松島市（経営体育成支援等），JAいしのまき（生産販売支援等） 農業・園芸総合研究所(労務管理・働き方改革に関する調査・支援) 農業大学校(採用支援，先進農業体験学習)			
関連事業名と役割			
農地中間管理事業(農地集積の普及啓発等) 農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業(経営安定化支援)			



課題NO.	3		
課題名	県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化		
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	(株)いちごランド石巻, (株)トライベリーファーム, (株)イグナルファーム, ((株)アグリ・パレット, (株)サンエイト)		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「にこにこベリー」は「とちおとめ」と同等に年内出荷が可能で、品質及び収量性に優れた品種である。</li> <li>・石巻地域の法人等ではR2年産よりとちおとめに変わる品種として「にこにこベリー」の栽培に取り組んでいるが、従来の「とちおとめ」とは異なる品種特性から、高夜温による果房伸長による房折れと不良果の発生、育苗中の密植や必要以上の遮光による苗の徒長や充実不足と定植後の高夜温などにより第一腋果房出蕾が遅れ、中休みが見られるなど、品質と収量の安定化が課題である。</li> <li>・このため「にこにこベリー」の品種特性に応じた温度管理や電照時間、養液管理、果数制限などの栽培管理を早期に習得する必要がある。</li> </ul>		
意図する対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこベリーの品種特性を理解し、養液管理、温度管理、栽植密度などを考慮し栽培できるようになる。</li> <li>・にこにこベリーにおいて、「とちおとめ」と同等以上の収量が確保できるようになる。</li> </ul>		
県実施方針上の関連項目	1-(1)先進的技術に取り組む経営体の育成・支援		
地域基本方針上の関連項目	(2)-①先進的技術に取り組む経営体の支援		
担当チーム員	◎鈴木香深, 宍戸 修, 三上綾子, 小林雅文, 関口 道	担当班及び進行管理責任担当者	先進技術第二班 宍戸 修
成果指標	令和2年度		
	定性的目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこベリーの栽培技術が定着する。</li> </ul>		
	定量的数値目標	にこにこベリー 11月から2月末までの収量 R1年 2,500kg/10a → R2年 2,500kg/10a → R3年 2,500kg/10a 計画策定時(慣行とちおとめ)	
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数 71日)		
	活動事項	にこにこベリーの品種特性に合わせた栽培管理の習得 71日	
関係機関の主な役割分担項目			
石巻市、東松島市:経営体育成指導、JAいしのまき:営農指導、販売支援など、農業園芸総合研究所:生産技術指導など			
関連事業名と役割			
県育成いちご品種「にこにこベリー」現地普及推進事業			

課題NO.	4		
課題名	地域活性化に向けた高収益作物(アスパラガス)の導入・定着		
計画期間	令和2年度～令和4年度		
対象名及び対象数	アスパラガス研究会(20経営体)		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻管内では、東日本大震災からの農業の復旧が進む一方、持続的な発展には農業所得の向上が不可欠である(儲かる農業)。</li> <li>・アスパラガスは、他の露地野菜と比較して特に高収益な作物として注目されており、令和元年度には、直売所生産者、土地利用型農業法人及び新規就農者を会員として、令和2年にアスパラガス研究会が設立され、アスパラガスの生産振興に取り組んでいる。</li> <li>・研究会では、アスパラガスの省力化・低コスト栽培や病害対策として明治大学において開発された植え付けの翌年に収穫できる新たな栽培技術(アスパラガス採りつきり栽培)を活用し、露地・ハウスと短期・長期を組み合わせた作型を実証する計画があるなど、アスパラガスの安定生産方法の確立を目指している。</li> <li>・そこで、本研究会に対し、アスパラガスの導入・定着に向けた支援を行い、農業経営における所得向上の実現を図り、地域の活性化を目指す。</li> </ul>		
意図する対象の変化	・露地・施設と長期・短期の組み合わせによる生産体制が確立し、収益が確保できる作物として定着。		
県実施方針上の関連項目	1－(1)先進的技術に取り組む経営体の育成・支援		
	2－(1)地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援 2－(2)地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援		
地域基本方針上の関連項目	1－(1)次代の農業を担う経営体の育成・支援		
	2－(1)先進的技術に取り組む経営体の育成・支援		
	3－(2)地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援		
担当チーム員	◎小山かがみ, 田中正義, 佐藤元道, 高橋忠信, 濁沼小百合	担当班及び進行管理責任担当者	地域農業班 田中正義
成果指標	令和2年度		
	定性的目標 アスパラガスの生理生態を理解し、アスパラガス採りつきり栽培方法を習得する。 市場調査分析による販売戦略を主体的に検討する。		
	定量的数値目標 アスパラガス栽培面積(12月時点) (R元)2a → (R2)25a → (R3)50a →(R4)100a (計画策定時)		
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数 100日)		
	活動事項		
	安定生産技術に関する技術力向上	46日	
販売先確保, 単価向上に関する販売力向上	20日		
関係者間のネットワーク力向上	34日		
関係機関の主な役割分担項目			
JAいしのまき(生産販売支援等) 石巻市, 東松島市(経営体育成支援等) 農業・園芸総合研究所(栽培技術支援等) 東部地方振興事務所農業農村整備部(営農計画作成支援(高収益作物導入)等) 明治大学, パイオニアエコサイエンス株式会社(地域適応品種選定に関する共同研究)			
関連事業名と役割			
みやぎの農業・農村地域活力支援事業(みやぎ食と農の県民条例推進重点プロジェクト)			

### (3) 調査研究一覧

調査研究課題名	内 容	対象農家	担当者
アスパラガス採りっきり栽培の地域適応性実証	立茎栽培の課題をクリアする栽培方法として開発された「アスパラガス採りっきり栽培」の地域適応性を実証する。	アスパラガス研究会	田中 正義 小山かがみ
地域内有機物活用に向けた供給量調査	河北・北上地域の堆肥生産状況や利用状況等を調査し、耕畜連携による有機物の地域内循環に向けた取組推進に資する。	河北，北上地区の畜産経営体	佐藤 元道
食品表示法完全施行に対する石巻地域の対応状況と初期的な影響の評価	加工食品の一括表示・栄養成分表示が原則義務化となる食品表示法完全施行直後（2～3か月間程度）の対応状況と影響を調査するもの。	農産加工に取り組む生産者，JAいしのまき	増岡 直史
管内新規果樹の収量・品質向上に向けた調査	震災後新植した”もも”や”オリーブ”等が結果開始樹齢を迎えたことから収量・品質向上にむけて生育状況や技術課題等を調査するもの。	新規果樹生産者	小林 雅文
多収性品種「つきあかり」のセンシングデータを用いた可変追肥の実用性	スマート農業技術の一つであるドローンを用いたリモートセンシング技術を活用した可変追肥が収量・品質の向上に向けた実用性を検討する。	(有)アグリードなるせ	木村 友祐 宍戸 修
復旧農地の地力向上対策	長面地区の復旧農地は、山土が客土され砂質土壌で地力が低く、収量は低い傾向にあることから、長面地区の水田で堆肥施用による水稲増収効果を検証する。	(株)宮城リスタ大川	児玉 彩 阿部 定浩
県育成品種「にこにこベリー」の特性に合わせた栽培管理の検討	県育成品種「にこにこベリー」が管内でも栽培開始されたが、着果の中休みなどの課題が見られたことから、課題の改善に向け、品種特性に合わせた栽培管理の検討を行う。	いちご生産法人	鈴木 香深 三上 綾子 濁沼小百合



### Ⅲ 普及センターの活動等

#### (1) 普及センター活動一覧表

##### イ 重点活動

活動項目	目的及び内容	対 象	担当班
1 露地野菜の技術向上と作付け拡大支援	<p>(目的) 高品質安定生産に向けた技術向上を支援するとともに被災沿岸部に造成された畑地や基盤整備地への作付け拡大を支援する。</p> <p>(内容) ・加工業務用野菜（キャベツ2ha、はくさい8ha等）の作付け拡大。 ・ちぢみほうれんそう（ほうれんそう31ha）、ちぢみゆきな(3ha)等の作付け拡大 ・せりの高品質化に向けた、苗の生産体制の整備と病害虫対策の徹底(6.5ha)。</p>	<p>J Aいしのまき加工野菜生産部会 J Aいしのまきハウレンソウ部会 J Aいしのまきセリ部会及び河北せり出荷組合</p>	先進技術第二班
2 担い手育成支援機関等との連携による新規就農者の確保・育成	<p>(目的) 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」に掲げる新たに農業経営を営もうとする青年等の確保・育成を図る。</p> <p>(内容) ・就農相談，就農計画，就農資金計画，農業次世代人材投資事業に係る計画等の作成支援 ・就農希望者及び新規就農者の資質向上支援 ・担い手育成支援協議会，県農業大学校及び農業高校等教育機関等との連携による就農支援</p>	<p>就農希望者 新規就農者 青年農業者 認定新規就農者</p>	地域農業班
3 経営の発展段階に応じた総合的な支援による活力のある経営体の育成	<p>(目的) 所内に設置した「地域農業経営高度化支援チーム」を主体に市町，J A経営相談所等と連携して，集落営農組織等の法人化及び法人化後のフォローアップ，農業法人の運営能力の向上を図る。</p> <p>(内容) ・法人化志向組織に対する法人設立支援及び法人化後のフォローアップ ・震災後設立法人等への早期経営安定化支援 ・事業継承及び経営管理等に係る支援 ・法人組織との情報交換と各種情報の提供</p>	<p>集落営農法人等 ・(農)にしふくだ ・(農)鷹来 ・(農)鶴家 ・(農)二股南 ・(株)大地 震災後設立法人 J A法人会</p>	先進技術第一班

活動項目	目的及び内容	対 象	担当班
4 農地集積に伴う地域農業の担い手組織育成支援	<p>(目的) 土地基盤整備の進展に伴う農地集積,担い手組織の育成について市町,土地改良区及びJ A等と連携しながら総合的な支援を行う。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の合意形成支援</li> <li>・担い手組織育成支援</li> </ul>	鹿又地区農用地利用改善組合 広渕地区農用地利用改善組合 須江地区農用地利用改善組合 北村地区農用地利用改善組合 前谷地広渕地区農用地利用改善組合	地域農業班
5 総合対策の実施に向けた鳥獣被害対策支援	<p>(目的) 野生鳥獣による農作物被害が深刻な状況であり,近年,集落単位での鳥獣被害対策への取り組みが行われるようになった。効果的な鳥獣被害対策には集落内の合意形成や地域住民,関係機関が協働して取り組む体制づくりが不可欠であることからロードマップに基づき関係機関と連携しながら支援を行う。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落内合意形成支援</li> <li>・集落点検実施支援</li> <li>・鳥獣被害対策技術支援</li> </ul>	鳥獣被害対策に取り組む集落	地域農業班

ロ 一般活動

活動項目	内 容	対 象	担当班
1 地域農業を担う経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関と連携した経営再開プラン（人・農地プラン）作成・見直し支援</li> <li>・ 認定農業者制度に関する情報の提供</li> <li>・ 担い手育成支援協議会等との連携による掘起こし活動</li> <li>・ 経営所得安定対策・担い手・農地総合対策の農業者等への事業活用支援</li> <li>・ 経営再開プラン（人・農地プラン）に位置づけられる中心経営体の地域雇用創出に向けた取組み支援</li> <li>・ 農業士活動の支援と連携強化</li> </ul>	農業法人 生産組織 集落営農組織 認定農業者 石巻農業士会等	地域農業班
2 農業後継者の確保と資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定新規就農者制度に関する情報提供</li> <li>・ みやぎ農業未来塾の開催</li> <li>・ 就農受け入れ促進のための環境整備</li> <li>・ 農業士と連携した育成支援</li> </ul>	就農希望者 新規就農者 青年農業者 認定新規就農者	地域農業班
3 青年農業者活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規クラブ員の確保</li> <li>・ 自主的なクラブ活動支援</li> <li>・ 直売活動の販売促進支援</li> <li>・ 経営目標作成と実現に向けた調査研究支援</li> <li>・ 農業教育指導支援</li> </ul>	石巻地区 4 H クラブ連絡協議会等	地域農業班
4 女性農業者の資質向上と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性農業者リーダーの社会参画推進支援</li> <li>・ 女性の起業活動の支援</li> <li>・ 家族経営協定の締結推進</li> <li>・ 若手女性農業者活動支援</li> </ul>	各市担い手育成支援協議会 農業委員会 女性起業者及び志向者 石巻地域生活研究グループ 連絡協議会 認定農業者 家族経営協定締結者 等	地域農業班
5 農村資源を活かした地域活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直売所ネットワークづくり</li> <li>・ 都市と農村の交流活動支援</li> <li>・ 農作業体験等を取り入れた交流活動推進支援</li> </ul>	志向農業者 直売所 関係機関	地域農業班



活動項目	内 容	対 象	担当班
6 農作物の鳥獣被害防止対策支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣害対策への意識向上</li> <li>・鳥獣害対策技術情報の提供</li> </ul>	農業者 関係機関 等	地域農業班
7 売れる米づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生育調査ほ等の設置運営</li> <li>・生育状況に応じた基本技術に関する情報提供及び技術指導</li> <li>・省力化技術の導入・定着支援</li> <li>・新品種「だて正夢」, 「金のいぶき」の普及促進</li> <li>・環境保全米の栽培技術指導</li> </ul>	J A いしのまき 稲作部会 農業法人 等	先進技術第一班
8 高品質麦・大豆の安定生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生育調査ほ等の設置運営</li> <li>・生育状況に応じた基本技術に関する情報提供及び技術指導</li> <li>・大麦新品種「ホワイトファイバー」の技術指導及び情報提供</li> </ul>	J A いしのまき 転作部会	先進技術第一班
9 優良麦・大豆種子生産の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子生産に関する技術指導と情報提供</li> </ul>	麦・大豆種子 生産組織	先進技術第一班
10 経営管理能力を持つ経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記帳実践者及び記帳グループへの継続的な記帳指導</li> <li>・関係機関と連携した簿記指導</li> <li>・財務諸表による経営診断の実施</li> <li>・法人の適切な経営管理（雇用・労務等）支援</li> <li>・農業制度資金の導入及び経営改善支援</li> </ul>	認定農業者 簿記記帳実践者 新規記帳希望者 農業制度資金利用者 農業法人 等	先進技術第一班
11 畜産の生産技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良肉用牛及び優良豚の生産支援</li> <li>・適正な飼養管理による高品質乳の生産支援</li> <li>・飼料自給率向上に向けた飼料作物（飼料用米等含む）の栽培支援</li> <li>・家畜排せつ物の適正処理と利用の促進支援</li> <li>・安全安心な畜産物・自給飼料作物の生産支援</li> </ul>	J A いしのまき 繁殖牛部会 ・肉牛部会・ 酪農部会等 飼料作物等生産農業者	先進技術第一班
12 環境に配慮した持続的な農業生産の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減技術の普及指導</li> <li>・エコファーマー等各種認定制度の活動促進</li> <li>・耕畜連携による土づくり推進</li> <li>・農業生産資材や作物残渣等の適正処理推進</li> </ul>	耕種農家 畜産農家 認証制度活用 農業者及び志 向農業者	先進技術第一班 先進技術第二班

活動項目	内 容	対 象	担当班
13 安全・安心な農産物の生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬の適正使用についての指導と情報提供</li> <li>・農薬低減や肥料節減に向けた取組，技術支援</li> <li>・G A P (農業生産工程管理) 導入に向けた啓発・推進</li> <li>・有機質肥料の活用促進</li> </ul>	水稲・大豆・麦・野菜生産農業者等	先進技術第一班 先進技術第二班
14 野菜の安定生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地改革品目と地域戦略品目の安定生産推進</li> <li>・病虫害防除技術指導</li> <li>・土壌診断等に基づく適正施肥の管理指導</li> <li>・需要拡大に向けた産地P R支援</li> <li>・集落営農組織等が取り組む園芸作物栽培の導入・生産性向上支援</li> <li>・加工業務用野菜の生産支援</li> <li>・産直野菜やマイナー作物の栽培技術支援</li> <li>・遊休園芸施設等把握・活用支援</li> </ul>	J A いしのまき野菜品目別部会 集落営農組織 農業法人 等	先進技術第二班
15 花きの品質向上及び安定生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低温開花性品種等導入による栽培技術支援</li> <li>・病虫害の適正防除支援</li> <li>・土壌診断や生育診断等による適正管理技術支援</li> <li>・遊休園芸施設等把握・活用支援</li> <li>・石巻産花きのP R支援</li> </ul>	J A いしのまき花き部会及び花き生産農業者等	先進技術第二班
16 果樹の安定生産及び生産拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物直売所等で販売する果樹の栽培技術支援</li> <li>・いちじく，ぶどう等新品目の導入及び定着支援</li> <li>・病虫害の発生情報等の提供</li> <li>・実需者との連携による果樹類の需要開拓及びP R支援</li> </ul>	果樹生産農業者及び志向農業者	先進技術第二班
17 競争力のあるアグリビジネス展開支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農商工連携・6次産業化推進の情報提供及び活動支援</li> <li>・実需者とのマッチング推進</li> <li>・業務用野菜等契約取引の推進</li> </ul>	志向農業者等	先進技術第一班 先進技術第二班

## (2) 展示ほ・実証ほ等設置計画

名 称	目 的	作物名	設置場所及び 担当農家	主な調査項目	関連事業
水稲生育調査ほ	水稲生育状況の把握	水稲 4か所	石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田 石巻市広瀬 山田 茂樹 石巻市真野 三浦 寿悦 東松島市小松 浅野 勝則	生育調査 収量・品質調 査	水稲生育診断事 業
水稲直播栽培技 術普及展示ほ	水稲直播栽培技 術の実証普及	水稲 1か所	石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田	生育調査 収量・品質調 査	みやぎ米安定生 産対策・多収品 種導入事業
だて正夢現地栽 培技術普及展示 ほ	水稲新品種の栽 培技術の普及	水稲 1か所	東松島市小松 浅野 勝則	生育調査 収量・品質調 査	みやぎ米安定生 産対策・多収品 種導入事業
金のいぶき現地 栽培技術普及展 示ほ	水稲新品種の栽 培技術の普及	水稲 1か所	石巻市蛇田 西條 文雄	生育調査 収量・品質調 査	みやぎ米安定生 産対策・多収品 種導入事業
水稲優良品種決 定現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	水稲 1か所	東松島市大曲 (株)ぱるファ ーム大曲	生育調査 収量・品質調 査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領
麦生育調査ほ	麦類の生育状況 の把握	大麦 2か所 小麦 1か所	石巻市桃生町 (有)高須賀農産 (株)JKファ ーム 石巻市小船越 (株)クリーン ライス	生育調査 収量・品質調 査	売れるみやぎの 麦・大豆生産拡 大事業
麦優良品種決定 現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	大麦 1か所	石巻市蛇田 蛇田集団転作 組合	生育調査 収量・品質調 査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領
麦類生育観測ほ	管内麦類の生育 状況把握	大麦 2か所 小麦 1か所	石巻市稲井 (農)水沼ファ ーム (農)ドリーム 真野 石巻市桃生町 (株)入沢ファ ーム	生育調査 収量・品質調 査	

名 称	目 的	作物名	設置場所及び 担当農家	主な調査項目	関連事業
大豆生育調査ほ	大豆の生育状況 把握	大豆 2か所	石巻市稲井 (農)水沼ファ ーム 石巻市小船越 (株)クリーン ライス	生育調査 収量・品質調 査	売れるみやぎの 麦・大豆生産拡 大事業
大豆優良品種決 定現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	大豆 1か所	石巻市和渕 子玉 吉男	生育調査 収量・品質調 査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領
大豆生育観測ほ	大豆の生育状況 把握	大豆 3か所	石巻市蛇田 蛇田集団転作 組合 石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田 石巻市広渕 (農)五十鈴フ ァーム	生育調査 収量・品質調 査	
果樹作況調査ほ	ぶどう「シャイ ンマスカット」 の生育状況把握	ぶどう 1か所	東松島市大曲 熱海 修市	生育調査 収量・品質調 査	園芸振興戦略総 合対策事業
稲発酵粗飼料用 稲実証展示ほ	稲発酵粗飼料専 用品種等の普及 展示	稲WCS 2か所	石巻市河南 日野 直幸 窪田 求	生育調査 収量調査	飼料価格高騰対 策支援事業
「にこにこベリ ー」普及展示ほ	いちご新品種 「にこにこベリ ー」の普及展示, 栽培技術指導	いちご 1か所	石巻市蛇田 (株)トライベ リーファーム	研修会等の回 数,栽培面積, 収量等	県育成いちご新 品種「にこにこ ベリー」展開事 業
農薬展示ほ	農薬の効果実証 展示	未定	石巻市 東松島市	病虫害, 雑草 発生状況調査	

### (3) 各種情報調査計画

名称	作物名	主な調査項目	調査時期(月)	調査回数	関係課	関係事業等
新規就農者調査	—	新規就農者の就農時期, 経営規模等	4, 11	2	農業振興課	青年農業者育成確保推進事業(基盤強化法基本方針の達成状況把握)
地区農業士会の活動状況報告	—	農業士会の活動内容	4~5	1		農業士活動事業
農村青少年クラブ動向調査	—	4 Hクラブ数	4	1		農村青少年指導者研修事業
農村女性による起業活動実態調査	—	起業活動の数と実態	4~6	1		農業・農村男女共同参画支援事業(パートナーシップ指標の達成状況把握)
家族経営協定に関する調査	—	家族経営協定締結数	4~6	1		農業・農村男女共同参画支援事業(パートナーシップ指標の達成状況把握)
普及現地事例情報調査	—	普及現地事例情報等の収集	2	1		全国農業改良普及支援協会より照会
主要農作物生育概況調査	各作物	各作物の生育状況	4~3	12	みやぎ米推進課	
水稻の播種状況及び田植状況	水稻	播種面積, 田植面積	4~5	7		水稻生育診断事業
水稻の出穂状況	水稻	出穂面積	8	6		水稻生育診断事業
水稻の刈取状況	水稻	刈取面積	9~10	6		水稻生育診断事業
水稻直播栽培実態調査	水稻	直播栽培面積	6	1		みやぎ米安定生産対策・多収品種導入事業
種子審査	麦, 大豆	発芽率, 種子伝染性病害虫発生程度等	4~3	5		みやぎの主要農作物等生産体制整備事業
農産物の放射性物質に関する調査	各作物	農産物の放射性物質検査	4~3	随時		農産物放射能対策事業
農薬の短期暴露評価導入に伴うJA栽培暦等確認	各作物	JA栽培暦等記載農薬の確認	4~3	随時		国からの通知による。
農薬危害防止運動の実施状況	—	農薬適正使用の指導を行った講習会等の内容及び受講者数等	6~8	1		農薬安全使用指導事業
GAP取得に関する意向調査	—	GAP取得意向等	11~2	1		GAP認証取得推進事業(農産物)
加工・業務用野菜に関する取組状況調査	野菜	生産額, 面積, 出荷先, 品種名等	6	1		加工・業務用野菜産地育成強化事業
地域特産果樹生産動態等調査	全果樹	樹種別作付面積, 生産出荷数量等	10~4	1	国からの照会に基づく	
花き産業振興総合調査	花き類	市町村別作付面積, 生産出荷数量等	12	1	国からの照会に基づく	
果樹作況調査	ぶどう	発芽, 開花, 肥大, 収量等生育調査	4~12	10	園芸振興戦略総合対策事業	
県育成園芸品種に関する調査	野菜, 花き, 果樹	栽培面積, 収量等調査	4~3	随時	優良種苗供給事業	
永年生牧草地再除染に係る調査	永年生牧草	除染済草地の放射性物質未低下の原因調査(土壌分析等)	4~3	随時	畜産課	給与自肅牧草等処理円滑化事業
飼料作物生育・収量調査	飼料用稲	生育・収量調査	4~3	随時		飼料価格高騰対策支援事業 自給飼料生産総合推進事業



## IV その他

### (1) 管内で実施される主な事業と普及センターの役割分担

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班	
全域	食産業ステージアッププロジェクト【重点】(県主催商談会, 県募集商品開発事業等) ※	食産業振興課	・地域の食材と加工のマッチングに関する連携(農業法人等への情報提供等) ・農産物, 加工品の販路拡大をめざす農業法人等への情報提供	先進技術第二班	
全域	県産ブランド品確立支援事業【重点】	食産業振興課	・地域食材のマーケティングに関する連携・情報交換(情報提供) ・生産地視察の際の実需者へのPR協力	先進技術第二班	
全域	中山間地域農業ルネッサンス事業 ※	農山漁村なりわい課	・県による中山間地農業を元気にする各種活動を支援	地域農業班	
全域	令和のむらづくり推進事業【重点】【新規】		・農山漁村地域における集落機能強化, 地域資源ビジネスの創出・展開, 関係人口の拡大推進等に取り組む各活動組織への助言指導	地域農業班	
全域	多面的機能支払事業【重点】 ※		・事業を実施する活動組織への助言, 支援	地域農業班	
全域	むらまち交流拡大推進事業【重点】 ※		・農林漁家民宿・レストラン等GTの核となる経営体育成に係る指導 ・GT推進協議会活動への支援	地域農業班	
全域	みやぎ農山漁村交流促進事業【重点】 ※		・事業活用グリーン・ツーリズム実践団体への指導	地域農業班	
全域	鳥獣害防止対策事業 ※		・農作物への鳥獣被害防止対策指導	地域農業班	
全域	加工・直売等6次産業化支援事業【重点】		・農業者が自ら又は商工業者と連携することによる新商品開発や販路開拓等の取組の掘りしや実施等を支援	先進技術第二班	
全域	6次産業化ステップアップ事業 ※		・商品開発や販路開拓等の6次産業化に取り組む農業者に対し, 事業計画達成に関する技術的な指導・助言	先進技術第二班	
全域	みやぎ6次産業化トライアル事業【重点】 ※		・新たな6次産業化への取組を開始する農業者等が機械等を導入する際の技術指導・助言	先進技術第二班	
全域	農林漁業者等6次産業化サポート事業【重点】(宮城県6次産業化サポートセンター) ※		・専門家派遣による新商品開発や販路開拓等の6次産業化に取り組む農業者の事業計画達成に関する技術的な指導・助言	先進技術第二班	
全域	企業との連携による5次産業化支援強化事業 ※		・企業との連携による商品開発に関する技術的な指導・助言及び農業法人等への企業とのマッチング商談会等に関する情報提供	先進技術第二班	
全域	アグリビジネス経営確立支援事業(アグリビジネス経営基盤強化整備事業, 大規模園芸経営体育成事業)		農山漁村なりわい課 園芸課	・アグリビジネスを志向する経営体育成支援 ・アグリビジネス経営体の事業展開支援 ・アグリビジネス経営革新計画及び大規模園芸経営体育成事業計画の策定・推進支援	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	農業政策企画推進事業(農業参入支援等) ※		農業振興課	・一般企業が農業参入を行うに当たって, 栽培技術等の指導助言 ・農業法人等が農福連携に取り組むに当たっての助言, 指導	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	企業タイアップによる農業現場改善事業 ※	・企業が提案する新技術, 新たなマネジメント手法等の農業現場での実施検証		先進技術第一班 先進技術第二班	
全域	みやぎクラウドファンディング活用促進事業 ※	・事業活用に向けた支援		先進技術第一班 先進技術第二班	
全域	みやぎ農福連携普及拡大事業 ※	・みやぎ農福連携推進ネットワーク活動への支援		地域農業班	
全域	みやぎの農業・農村地域活力支援事業【重点】 ○みやぎ食と農の県条例推進圏域重点プロジェクト ○農業・農村活力支援事業(ハード支援) ○農業・農村活力支援事業(ソフト支援)	・重点プロジェクトの実践  ・事業活用に向けた支援(事業の周知, 計画立案支援, 計画の実現に向けた支援)		地域農業班 先進技術第一班	
全域	農地中間管理事業 ※	・中間管理事業による農地集積の普及啓蒙 ・市町村, 農業委員会等への情報提供, 意見交換 ・中間管理事業担当との情報共有		地域農業班	
全域	被災地域農業復興総合支援事業	・事業計画の実現に向けた支援 ・財産処分手続支援等へのフォローアップ		地域農業班	
全域	人・農地プラン推進事業 ※	・人・農地プランの作成・見直し支援 ・人・農地プランの実行に向けた支援		地域農業班	
全域	農業経営基盤強化促進事業 ○元気のなるみやぎの担い手育成・確保推進交付金のうち担い手育成総合支援活動事業  ○経営体育成支援事業	・地域担い手協議会のコーディネーター役としての支援 ・担い手協議会が実施する認定農業者等担い手の資質向上や農業経営改善計画の達成に向けたフォローアップ活動の支援 ・農業法人設立を希望する経営体等に対する法人設立支援等 ・担い手協議会との連携による設立間もない農業法人等に対する経営診断や会計等に関する指導助言 ・農業経営基盤強化促進法改正に伴う「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」見直しに関する指導助言  ・事業活用に向けた支援		地域農業班	
全域	農業経営総合サポート事業 ○農業経営相談所	・農業経営の法人化・高度化に向けた支援		地域農業班	

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	農業制度資金関係事業	農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業改良措置に関する意見書の作成(必要と認められる場合)</li> <li>・経営改善資金計画書等作成の助言・指導及び認定新規就農者に係る意見書の作成</li> <li>・事業計画の達成及び借入金返済を含めた資金繰りの安定化を確保するために必要な生産技術・経営の指導・助言</li> </ul>	地域農業班 先進技術第一班
全域	農業・農村男女共同参画支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ講座等, 女性農業者に対する経営・技術支援</li> <li>・女性農業者及び女性・女性グループ等の表彰推薦</li> <li>・若手女性の掘り起こし・育成, 農村女性リーダーの育成</li> <li>・男女共同参画推進, 社会参画に関する意識啓発</li> </ul>	地域農業班
全域	農村青少年指導者研修事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村青少年クラブ活動の啓発、普及</li> <li>・農村青少年クラブ活動の助長</li> </ul>	地域農業班
全域	青年農業者育成確保推進事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した新規就農者の確保・育成</li> <li>・就農計画を申請しようとする者に対する就農相談</li> <li>・申請内容への事前指導</li> <li>・農業次世代人材投資事業(旧:青年就農給付金)に関する支援</li> </ul>	地域農業班
全域	農業士活動事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業士の認定に関する農業者の情報収集・調整</li> <li>・農業士活動への指導・支援</li> </ul>	地域農業班
全域	就農定着サポート事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる新規就農者とマンツーマンサポーターの選定</li> <li>・新規就農者の定着に向けた指導</li> </ul>	地域農業班
全域	みやぎ農業未来塾開催事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産技術や流通販売等に関する集合研修等の開催</li> </ul>	地域農業班
全域	みやぎの女性農業者ステップアップ応援事業【重点】 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活用に向けた支援</li> </ul>	地域農業班
全域	普及指導員調査研究費		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査項目に関する技術及び普及指導活動方法についての調査研究</li> </ul>	各班
全域	スマート農業実証モデル推進事業【重点】 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業の普及・推進</li> <li>・スマート農業実践モデル経営体への支援(IOT, ロボット技術やICT活用による生産や経営の「見える化」への指導・助言)</li> </ul>	先進技術第一班
全域	地域農業担い手育成支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農組織等の法人化支援</li> <li>・新規設立法人の経営安定化支援</li> </ul>	先進技術第一班
全域	農業制度資金活用者等経営支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及センターと農業振興課の普及指導員が連携しての制度資金等借受者の経営指導と経営分析</li> <li>・民間専門家の活用による指導助言</li> <li>・日常業務における経営安定化に向けた指導助言</li> </ul>	先進技術第一班
全域	農業のカイゼンモデル実証支援事業 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル経営体へのICTを活用した経営改善への指導助言</li> <li>・GAP取得等成果目標の達成に向けた指導助言</li> </ul>	各班
全域	農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業【重点】 ※		農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活用に向けた支援</li> <li>・ハンズオン経営支援チームへの参画, 情報共有, 助言指導</li> <li>・事業を活用した経営体へのフォローアップ</li> </ul>
全域	食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装) ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術の現地実証支援</li> <li>・研究成果の現地普及</li> </ul>		先進技術第一班

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」及び「スマート農業加速化実証プロジェクト」※	農業振興課	・スマート農業実証技術の営農管理支援 ・生育状況の記録(写真等) ・スマート農業実証農場の情報発信・視察受入対応	先進技術第一班
全域	強い農業・担い手づくり総合支援交付金 ※ H31に、強い農業づくり交付金(農産環境課所管)及び経営体育成支援事業(農業振興課所管)が統合	みやぎ米推進課	・事業計画構築支援 ・取り組み農業者等の経営・生産計画策定支援	地域農業班
全域	産地パワーアップ事業 ※		・事業計画指導支援 ・取組主体の経営・生産計画策定支援 ・低コスト生産技術等の導入と目標達成に向けた支援	地域農業班
石巻市	農畜産物輸出拡大施設整備事業 ※		・事業実施主体(農業法人等)の経営・生産計画の策定・推進支援	先進技術第一班
全域	東日本大震災農業生産対策交付金 宮城県農業生産早期再興対策事業 ※		・事業計画構築支援 ・取り組む農業者の経営・生産確立支援	地域農業班
全域	みやぎの主要農作物等生産体制整備事業		・優良種子を安定確保するための栽培指導 ・指定種子生産ほのほ場審査及び生産物審査 ・農協及び採種組合等の生産体制整備に係る指導	先進技術第一班
全域	県産こめ粉利用拡大事業 ※		・農漁家レストラン等での米粉利用に関する情報提供や食品企業等への県産米の米粉活用に向けた連携	先進技術第二班
全域	売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業【重点】		・麦大豆の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導	先進技術第一班
全域	みやぎ米安定生産対策・多収品種導入事業【重点】		・「だて正夢」、「金のいぶき」普及展示ほ設置、地域栽培塾等による技術指導 ・水稻直播栽培技術普及展示ほ等による省力・低コスト稲作推進	先進技術第一班
全域	水稻生育診断事業		・水稻の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導	先進技術第一班
全域	経営所得安定対策等推進事業 ※		・農業者に対する経営所得安定対策制度の活用支援 ・水田フル活用や水田農業高収益化、産地づくりの推進に必要な作物や技術導入に関する技術的な指導支援 ・地域農業再生協議会が策定する地域水田農業ビジョンの見直し支援	各班
全域	農産物放射能対策事業		・野菜、果物、米、麦、大豆、そば、土壌のサンプリングと放射性物質分析結果等に基づく放射性物質吸収低減対策等の技術指導	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	農業登録拡大推進事業		・マイナー作物における農業登録拡大試験の実施	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	GAP認証取得推進事業(農産物)		・GAPの普及啓発、取得推進指導	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	農業機械総合対策推進事業 ※		・各種講習会・研修会、巡回指導時における農作業安全指導 ・普及センターだより等への掲載	先進技術第一班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業(エコファーマー支援普及事業)【重点】		・制度の普及と志向農家の掘り起こし、誘導 ・認定志向農業者に対する「導入計画」策定時の指導、助言 ・導入計画実現に向けた指導、助言 ・必要に応じ、実施状況に係る認定農業者への現地調査	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業(みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度、有機農業定着促進事業)【重点】※		・有機農業参入相談活動の情報提供 ・みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度の普及と志向農家の掘り起こし、誘導等支援	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	園芸振興戦略総合対策事業【重点】 ※果樹生産性向上対策事業を統合		園芸振興課	・所管地域における産地育成、施策展開等を実施するための、農業経営・技術上の調査協力や課題解決支援 ・地域の園芸振興に係る計画の策定のための支援・助言・指導 ・野菜産地強化計画の策定及び花き、果樹、特用作物の産地改革計画、策定のための助言・指導 ・水田等における加工・業務用野菜の生産拡大及び新たな産地育成 ・果樹作況調査ほにおける作況把握(りんご、なし、もも、ぶどう) ・果樹の生産技術指導
全域	みやぎの園芸法人ステージアップ事業【重点】	・企業的な園芸法人等の育成支援		先進技術第二班
全域	競争力ある園芸産地づくり生産流通強化事業【重点】※	・産地間の広域連携強化への支援 ・広域連携協議会運営に関する支援		先進技術第二班
全域	水田農業高収益作物導入推進事業 ※	・事業活用に向けた支援		先進技術第二班
全域	優良種苗供給事業	園芸振興課	・園芸品目における有望品種の現地普及支援	先進技術第二班
全域	園芸特産団体育成事業 ※みやぎ花きプロモーション事業		・各協議会等の活動との連携 ・所管地域内花き産地の情報提供	先進技術第二班
全域	県育成いちご新品種「にこにこベリー」展開事業【重点】		・にこにこベリーの普及に向けた展示ほの設置、栽培技術指導	先進技術第二班
全域	地球にやさしい施設園芸推進事業【重点】※		・次世代施設園芸拠点で得られた高度環境制御技術の普及支援	先進技術第二班

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	畜産業振興事業等指導事業	畜産課	・畜産特別資金借入農家へ対する経営・技術支援指導	先進技術第一班
全域	放射性物質影響調査事業 ※		・粗飼料、土壌等の放射性物質分析に基づく適切な飼養管理等の技術指導	先進技術第一班
全域	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業【重点】 ※		・畜産クラスター協議会指導、構成員として助言 ・クラスター計画策定・見直し等支援 ・施設整備事業計画構築支援 ・施設整備対象者経営指導	先進技術第一班
全域	給与自肅牧草等処理円滑化事業		・除染済牧草地の放射性物質吸収抑制対策技術支援	先進技術第一班
全域	畜産環境整備リース事業 ※		・事業を要望する畜産農家の処理技術指導及び経営指導	先進技術第一班
全域	自給飼料生産総合推進事業		・飼料価格高騰に対応する技術指導 ・飼料作物の奨励品種の普及展示	先進技術第一班
全域	飼料価格高騰対策支援事業		・飼料価格高騰に対応する技術指導 ・稲発酵粗飼料の奨励品種の普及展示	先進技術第一班
全域	みやぎの子牛生産基盤復興支援事業 ※		・繁殖経営増頭計画等実現への指導・助言	先進技術第一班
全域	畜産経営技術高度化促進事業 ※		・畜産協会の畜産コンサルト団と連携した、対象農家への経営・技術両面の支援指導	先進技術第一班
全域	畜産振興総合対策推進指導事業 (養蜂振興推進事業) ※		・施設園芸農家への花粉交配用ミツバチ導入の調査協力	先進技術第二班
全域	乳用牛群検定指導強化事業		・検定データの分析結果を検定農家へ伝達及びデータを活用した飼養管理の指導	先進技術第一班
全域	家畜改良促進事業 ※		・共進会に参加する牛の選定協力	先進技術第一班
全域	肉用牛集団育種推進事業【重点】 ※		・県種雄牛造成に係る直接検定牛、現場後代検定牛の選定協力 ・生産現場における県肉用牛改良方針、交配及び優良繁殖雌牛の保留推進等の情報提供	先進技術第一班
全域	みやぎの肉用牛イメージアップ事業 ※		・宮城県産牛肉（仙台牛等）の認知向上に向けた各種取組、PR活動	先進技術第一班
全域	GAP認証取得推進事業（畜産）【重点】 ※		・認証制度の普及啓蒙 ・認証取得希望者への支援	先進技術第一班
全域	第12回鹿児島全共出品対策事業【重点】 ※		出品候補牛の調査、技術指導	先進技術第一班
全域	土地改良事業地区営農推進優良事例表彰事業 ※	農村振興課	・推薦調書の作成支援	地域農業班
全域	農地等地域整備構想策定支援（県営ほ場整備事業調査書） ※		・地域営農構想の策定支援等	地域農業班
石巻市 東松島市	(事業要望地区調査) 県営ほ場整備事業調査費 農業農村整備事業実施計画費 ※		・担い手農家の営農計画策定支援 ・地域営農計画の策定支援 ・土壌調査等の基礎調査支援	地域農業班
石巻市 東松島市	農地整備事業 ・農業競争力強化基盤整備事業 ・農山漁村地域整備交付金 ・農村地域復興再生基盤総合整備事業 農業経営高度化支援事業【重点】 ※	農村整備課	・組織の立ち上げから運営までの指導、支援 ・担い手への助言、指導 ・作物生産技術指導、支援（直播栽培、高収益作物への取組等） ・農地集積への助言、支援	地域農業班
石巻市 東松島市	農山漁村地域復興基盤総合整備事業 農業経営高度化支援事業 ※	農地復興推進室	・組織の立ち上げから運営までの指導、支援 ・担い手への助言、指導 ・作物生産技術指導、支援 ・農地集積への助言、支援	地域農業班

※当初予算で事務経費の割当がない事業

## (2) 職務分担

班名	職名	氏名	分掌事務
	所長	佐々木 宏行 (畜産)	1 農業改良普及センターの事務を掌理し、所属職員を指揮監督する
	農業普及指導専門監	高橋 忠信 (作物)	1 農業技術の改良普及の指導に関する事務を掌理する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）の総括に関すること 3 プロジェクト課題等における各チーム間の総合調整に関すること 4 県農林水産部重点施策の展開における普及指導活動の総合調整及び指導に関すること 5 みやぎの農業・農村復興に係る普及活動の総括に関すること 6 普及指導員の資質向上に関すること 7 効率的かつ効果的な普及活動の展開に関すること
	次長 (総括担当)	關口 道 (野菜)	1 所の事務を掌理し、所長を補佐する 2 所長代決に関すること 3 普及センター管理運営に関すること 4 職員の服務規律及び福利厚生に関すること 5 庶務に関すること 6 安全運転管理者に関すること 7 県民サービス向上運動、事務改善に関すること 8 食の安全・安心の推進に関すること 9 職員の研修に関すること
	技術次長 (総括担当)	濁沼 小百合 (花き)	1 専門的技術に関し、所長を補佐する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）の策定及び実施の調整に関すること 3 調査研究に関すること 4 農業技術の指導に関すること 5 県奨励施策に係る市町村・農協及び地方振興事務所内の各部等との総合調整に関すること 6 試験研究開発技術の普及に係る総合調整に関すること 7 みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に関すること 8 産業間連携に関すること 9 関係機関・団体との連携に関すること 10 農業技術に係る各班活動の連携及び調整に関すること 11 経営所得安定対策及びその関連施策に関すること（総括） 12 農地中間管理事業に関すること（総括） 13 男女共同参画社会形成の取組推進に関すること



班名	職名	氏名	分掌事務
地域農業班	技術次長 (班長)	田中 正義 (野菜・経営)  〈石巻市 石巻・河南 地域〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 班の総括</li> <li>2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事</li> <li>3 各課題チーム活動の調整に関する事</li> <li>4 班担当事業の進行管理に関する事</li> <li>5 普及指導計画の策定及び実施に関する事</li> <li>6 普及センター活動に関する事</li> <li>7 地域農業振興計画等の支援に関する事</li> <li>8 地域営農システム構築への支援に関する事</li> <li>9 人・農地プラン作成の支援に関する事 (総括)</li> <li>10 農地中間管理事業に関する事</li> <li>11 農業経営基盤強化促進対策のうち農用地利用調整等に関する事</li> <li>12 石巻市農業再生協議会に関する事</li> <li>13 地域農業を担う組織育成に関する事 (総括)</li> <li>14 多様な担い手の確保及び育成に関する事 (総括)</li> <li>15 経営所得安定対策及びその関連対策に関する事</li> <li>16 宮城県農業経営相談所に関する事</li> <li>17 農福連携に関する事</li> <li>18 他の班に属さない事務に関する事</li> </ol>
	主任主査	佐藤 元道 (畜産)  〈石巻市 雄勝・北上 河北地域〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>2 多様な担い手の確保及び育成に関する事</li> <li>3 青年農業士、指導農業士に関する事</li> <li>4 普及活動検討会及び研究会に関する事</li> <li>5 普及指導協力委員活動の調整に関する事</li> <li>6 課題対象農業者の満足度調査に関する事</li> </ol>
	主任主査	増岡 直史 (作物)  〈東松島市〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農作物の鳥獣害対策に関する事</li> <li>2 地域農業振興計画等の支援に関する事</li> <li>3 地域営農システム構築への支援に関する事</li> <li>4 人・農地プラン作成の支援に関する事</li> <li>5 農地中間管理事業に関する事</li> <li>6 農業経営基盤強化促進対策のうち農用地利用調整等に関する事</li> <li>7 東松島市農業再生協議会に関する事</li> <li>8 経営所得安定対策及びその関連対策に関する事</li> <li>9 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>10 青年農業者の育成に関する事(正)</li> </ol>
	技術主査	小山 かがみ (花き)  〈石巻市 桃生・牡鹿 地域 女川町〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農村振興に関する事 (グリーン・ツーリズム等交流活動を含む)</li> <li>2 中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関する事</li> <li>3 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>4 多様な担い手の確保及び育成に関する事</li> <li>5 女性農業者の育成に関する事</li> <li>6 農村生活研究組織の育成に関する事</li> <li>7 表彰推薦に関する事</li> <li>8 農産物の展示会及び共進会に関する事</li> <li>9 青年農業者の育成に関する事(副)</li> </ol>
	(兼) 技 師	木村 友祐 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 多様な担い手の確保及び育成に関する事</li> </ol>

班名	職名	氏名	分掌事務
先進技術第一班	技術次長 (班長)	三上 綾子 (野菜)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 班の総括</li> <li>2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事</li> <li>3 各課題チーム活動の調整に関する事</li> <li>4 班担当事業の進行管理に関する事</li> <li>5 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜)</li> <li>6 普及センター活動に関する事</li> <li>7 試験研究開発技術の普及に関する事</li> <li>8 経営所得安定対策の中、特に高度な技術・経営の支援に関する事</li> </ol>
	技術主幹	阿部 定浩 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物)</li> <li>2 農業普及情報の収集及び蓄積、伝達に関する事</li> </ol>
	技 師	工藤 詩織 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経営管理高度化の普及指導に関する事 (経営)</li> <li>2 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物)</li> <li>3 農産物の流通及び利活用の普及指導に関する事 (農産物利活用)</li> <li>4 アグリビジネス・6次産業化の推進に関する事</li> <li>5 農業労働改善の普及指導に関する事</li> </ol>
	技 師	木村 友祐 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物)</li> <li>2 主要農作物の種子生産に関する事</li> <li>3 スマート農業の推進に関する事</li> </ol>
	技 師	児玉 彩 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物)</li> <li>2 国際的に通用する農業生産工程管理 (GAP) の普及指導に関する事</li> </ol>
	(兼) 主任主査	佐藤 元道	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (畜産)</li> </ol>
先進技術第二班	技術次長 (班長)	宍戸 修 (野菜)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 班の総括</li> <li>2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事</li> <li>3 各課題チーム活動の調整に関する事</li> <li>4 班担当事業の進行管理に関する事</li> <li>5 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜)</li> <li>6 普及センター活動に関する事</li> <li>7 土壌分析の運営・管理に関する事</li> </ol>
	技術次長	小林 雅文 (果樹)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (果樹・野菜)</li> <li>2 環境に配慮した、安全安心な農畜産物生産の技術指導に関する事</li> </ol>
	技 師	鈴木 香深 (野菜)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜)</li> </ol>
		(兼) 技術主査	小山 かがみ (花き)

# V 参考資料

## (1) 地域の概況

### 1 専業別農家数

単位：戸

市町名	総農家数		専業別農家数(販売農家)					
			専業		第1種兼業		第2種兼業	
	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27
宮城県	65,633	52,350	8,577	7,865	6,020	5,261	34,787	24,407
管内合計	7,032	4,938	999	850	695	528	3,596	2,277
石巻市	5,395	3,871	746	661	513	415	2,896	1,839
東松島市	1,608	1,055	251	189	182	113	696	438
女川町	29	12	2	X	—	X	4	X

注)2010年及び2015年世界農林業センサス

### 2 基幹的農業従事者数(販売農家)

単位：人

	地域別	計	年齢別							
			15-34歳	35-49歳	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75歳～
男	宮城県	24,880	819	1,460	851	1,593	4,027	4,671	3,823	7,636
	管内合計	2,328	65	153	86	159	359	439	385	682
	石巻市	1,804	48	110	64	115	273	340	305	549
	東松島市	524	17	43	22	44	86	99	80	133
	女川町	X	X	X	X	X	X	X	X	X
(参) H22年管内計		2,661	108	188	162	294	385	435	501	588

	地域別	計	年齢別							
			15-34歳	35-49歳	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75歳～
女	宮城県	16,910	221	676	721	1,741	3,343	3,127	2,683	4,398
	管内合計	1,552	23	79	88	163	327	321	275	276
	石巻市	1,144	17	58	55	103	253	241	205	212
	東松島市	408	6	21	33	60	74	80	70	64
	女川町	X	X	X	X	X	X	X	X	X
(参) H22年管内計		1,743	19	141	164	312	336	298	231	242

注)2010年及び2015年世界農林業センサス

### 3 経営耕地面積(農業経営体)

単位：ha

地域等別	経営耕地総面積	田		畑		樹園地		1経営体当たり経営耕地面積(ha)		
		借入耕地面積	田のある経営体数	経営耕地面積	畑のある経営体数	経営耕地面積	樹園地のある経営体数			
H27年	宮城県	108,025	42,781	36,918	96,481	27,586	10,946	1,394	598	2.81
	管内合計	11,531	4,638	3,611	10,967	2,615	556	53	8	3.04
	石巻市	8,950	3,561	2,907	8,595	2,015	349	39	6	3.00
	東松島市	2,581	1,077	704	2,372	600	207	14	2	3.39
	女川町	X	X	X	X	X	X	X	X	X
(参) H22年管内計	12,898	4,357	5,281	11,972	4,146	909	91	16	2.40	

注)2010年及び2015年世界農林業センサス

### 4 経営耕地面積規模別農業経営体数

単位：経営体

地域等別	計	経営耕地なし	経営耕地面積規模						
			0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～1.5ha	1.5～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha
宮城県	39,872	487	442	4,338	9,328	6,701	4,550	5,304	3,784
管内合計	3,791	41	49	295	738	603	482	643	469
石巻市	3,018	32	36	237	589	498	388	511	384
東松島市	771	9	13	58	149	105	94	132	85
女川町	2	X	X	X	X	X	X	X	X

地域等別	5.0～10ha	10～20ha	20～30ha	30～50ha	50～100ha	100ha以上
宮城県	2,341	982	236	199	146	34
管内合計	294	106	31	24	13	1
石巻市	215	75	22	21	9	1
東松島市	79	31	9	3	4	—
女川町	X	X	X	X	X	X

注)2015年世界農林業センサス

### 5 農産物販売金額規模別農業経営体数

単位：経営体

地域等別	計	農産物の販売なし	50万円未満	50～100	100～200	200～300	300～500			
管内合計	3,791	280	797	808	761	370	231			
石巻市	3,018	205	652	687	620	289	170			
東松島市	771	75	145	121	141	81	61			
女川町	2	X	X	X	X	X	X			
(参) H22年管内計	5,422	520	1,230	1,102	1,080	481	329			
宮城県	38,872	3,544	11,848	7,758	6,326	2,847	2,086			
全国	1,377,266	132,034	470,357	211,374	165,978	89,339	85,221			

地域等別	500～700	700～1,000	1,000～1,500	1,500～2,000	2,000～3,000	3,000～5,000	5,000～1億円	1～3億円	3～5億円	5億円以上
管内合計	116	153	112	55	47	27	26	3	3	0
石巻市	83	111	78	42	34	19	23	2	3	-
東松島市	33	42	34	13	13	8	3	1	-	-
女川町	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
(参) H22年管内計	1,622	200	160	62	52	17	23	3	0	1
宮城県	1,060	1,094	834	404	406	327	217	79	23	19
全国	47,975	49,441	43,676	23,344	23,181	18,346	10,451	4,722	896	931

注)2010年及び2015年世界農林業センサス

### 6 主要家畜の飼養戸数・頭数

地域等別	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(千羽)	飼養戸数(戸)	飼養頭数(千羽)
管内合計	22	678	184	5,163	10	6,090	3	30	12	473
石巻市	19	623	152	4,595	7	5,300	3	30	12	473
東松島市	3	55	32	568	3	790	-	-	-	-
女川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	489	20,256	3,148	75,544	140	198,293	66	4,621	56	2,093

注1)宮城県は家畜改良関係飼養頭羽数調査(平成31年2月1日現在)

注2)管内は東部地方振興事務所畜産振興部調べ(家畜改良関係飼養頭羽数調査 平成31年2月1日現在)

### 7 水田整備率

市町名	水田面積(ha)	整備済み水田面積		うち大区画整備済み水田面積	
		面積(ha)	整備率(%)	面積(ha)	整備率(%)
石巻市	8,840	7,425	84	5,673	64
旧石巻市	1,073	700	65	587	55
旧河北町	2,225	1,797	75	1,605	67
旧雄勝町	3	0	0	0	0
旧河南町	3,322	3,105	56	2,065	29
旧桃生町	1,807	1,524	84	1,084	60
旧北上町	367	280	63	222	50
旧牡鹿町	0	19	0	14	0
東松島市	2,560	1,730	68	1,245	49
旧矢本町	1,697	915	30	784	25
旧鳴瀬町	89	815	74	461	38
女川町	5	0	0	0	0
管内合計	11,405	9,003	79	6,784	59
宮城県	110,277	78,258	71	34,916	32

注)農政部農村振興課調べ(平成30年度実績)

### 8 耕作放棄地面積(総農家)

単位：戸

地域等別	計	販売農家	自給的農家	土地持ち非農家
宮城県	11,692	4,753	1,804	5,135
H27年				
管内合計	701	236	91	381
石巻市	517	163	66	288
東松島市	184	73	23	88
女川町	X	X	2	5
(参) H22年管内計	689	271	112	306

注)表中に使用した符号は、次を表す。

「-」は事実のないもの

「0」は表示単位に満たないもの

「X」は秘密保持の観点から公表されないもの

注)2010年及び2015年世界農林業センサス

9 水稻の年次・品種別作付面積と比率

(単位:ha,%)

年次	作付面積合計	うるち								もち		
		ひとめぼれ	ササニシキ	まなむすめ	つや姫	だて正夢	金のいぶき	その他	うるち計	みやこがね	その他	もち計
平成27年	7,160	4,747	1,467	617	180	—	—	31	7,839	109	10	109
28年	7,350	4,918	1,617	439	154	—	—	58	7,779	164	0	164
29年	7,320	4,992	1,598	259	183	5	95	157	7,631	128	3	131
30年	7,410	5,295	1,510	115	220	29	70	150	7,625	120	0	120
令和元年	7,472	5,291	1,473	184	184	57	21	163	7,373	99	0	99
(比率)	(100.0)	(71.5)	(20.4)	(1.6)	(3.0)	(0.4)	(0.9)	(0.7)	(98.4)	(1.6)	(0.0)	(1.6)
元年県計	68,400	51,212	4,022	2,954	4,767	709	182	2,634	66,480	1,840	80	1,920

注1) ラウンドの関係で、うるち計ともち計及び合計は一致しない。

注2) 管内の作付面積は、JAいしのまき調べ。

令和元年県計は東北農政局統計情報部(12月15日公表)水稻市町村別収穫面積に(公社)みやぎ農業振興公社原種苗部の品種別種子配布比率を乗じて算出した。

10 大豆・麦類の年次・品種別作付面積及び単収

(単位:ha, kg/10a)

	大豆							
	タンレイ		ミヤギシロメ		タチナガハ		合計(平均)	
	面積	単収	面積	単収	面積	単収	面積	単収
26年	547	222	786	216	202	260	1,535	224
27年	662	203	876	156	440	217	1,978	192
28年	702	165	803	149	554	149	2,059	154
29年	817	148	872	163	394	162	2,083	158
30年	908	149	924	161	226	181	2,058	164
平均	682	177	852	169	363	194	1,914	182

	小麦									
	シラネコムギ		ゆきちから		夏黄金		あおばの恋		合計(平均)	
	面積	単収	面積	単収	面積	単収	面積	単収	面積	単収
27年	146	381	21	394	—	—	4	382	174	377
28年	135	427	33	417	—	—	4	439	178	422
29年	134	516	33	517	—	—	4	443	184	508
30年	138	403	32	414	—	—	6	445	178	417
令和元年	147	453	—	—	23	433	5	406	175	431
平均	140	436	30	435	23	433	5	423	178	431

	小麦								麦類合計 面積
	ミノリムギ		シュンライ		ホワイトファイバー		合計(平均)		
	面積	単収	面積	単収	面積	単収	面積	単収	
27年	261	283	264	287	—	—	525	285	699
28年	244	330	279	339	—	—	524	335	702
29年	268	455	304	403	—	—	572	427	756
30年	276	327	324	286	—	—	601	305	779
令和元年	244	369	223	374	105	386	572	376	747
平均	259	353	279	338	105	386	559	346	737

注)JAいしのまき調べ



## 11 認定農業者数

地域等	実績 (経営体数)	目標 (経営体数)	達成率 (%)
宮城県	6,447	6,500	99.2
石巻市	605	555	109.0
東松島市	279	320	87.2
女川町	0	0	-
石巻地域計	884	875	101.0

注1)宮城県東部地方振興事務所農業振興部調査(平成31年3月末現在)

注2)目標は、農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の目標値(平成32年度)である。

## 12 家族経営協定締結数

地域等	実績 (締結数)	平成32年度目標 (締結数)	達成率 (%)
宮城県	729	700	104.1
石巻市	75		
東松島市	25		
女川町	0		
石巻地域計	100		

注)宮城県東部地方振興事務所農業振興部調査(平成31年3月末現在)

## 13 新規就農者数, 認定新規就農者数, 4Hクラブ員数

単位:人

市町名	新規就農者数	認定新規就農者数	4Hクラブ員数
石巻市	9	0	10
東松島市	13	0	4
女川町	0	0	0
その他	0	0	1
石巻地域計	22	0	15
県計	158	30	127

注1)宮城県石巻農業改良普及センター調査

注2)新規就農者数, 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

注3)認定新規就農者数, 平成30年度認定数

注4)4Hクラブ員数 平成31年4月1日現在

普及センター名	宮城県石巻農業改良普及センター
郵便番号	986-0850
住所	宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地
TEL	0225-95-7612
FAX	0225-95-2999
代表メール	isnokai@pref.miyagi.lg.jp
URL	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/</a>